

色を映す道

いつもの道に特別感を

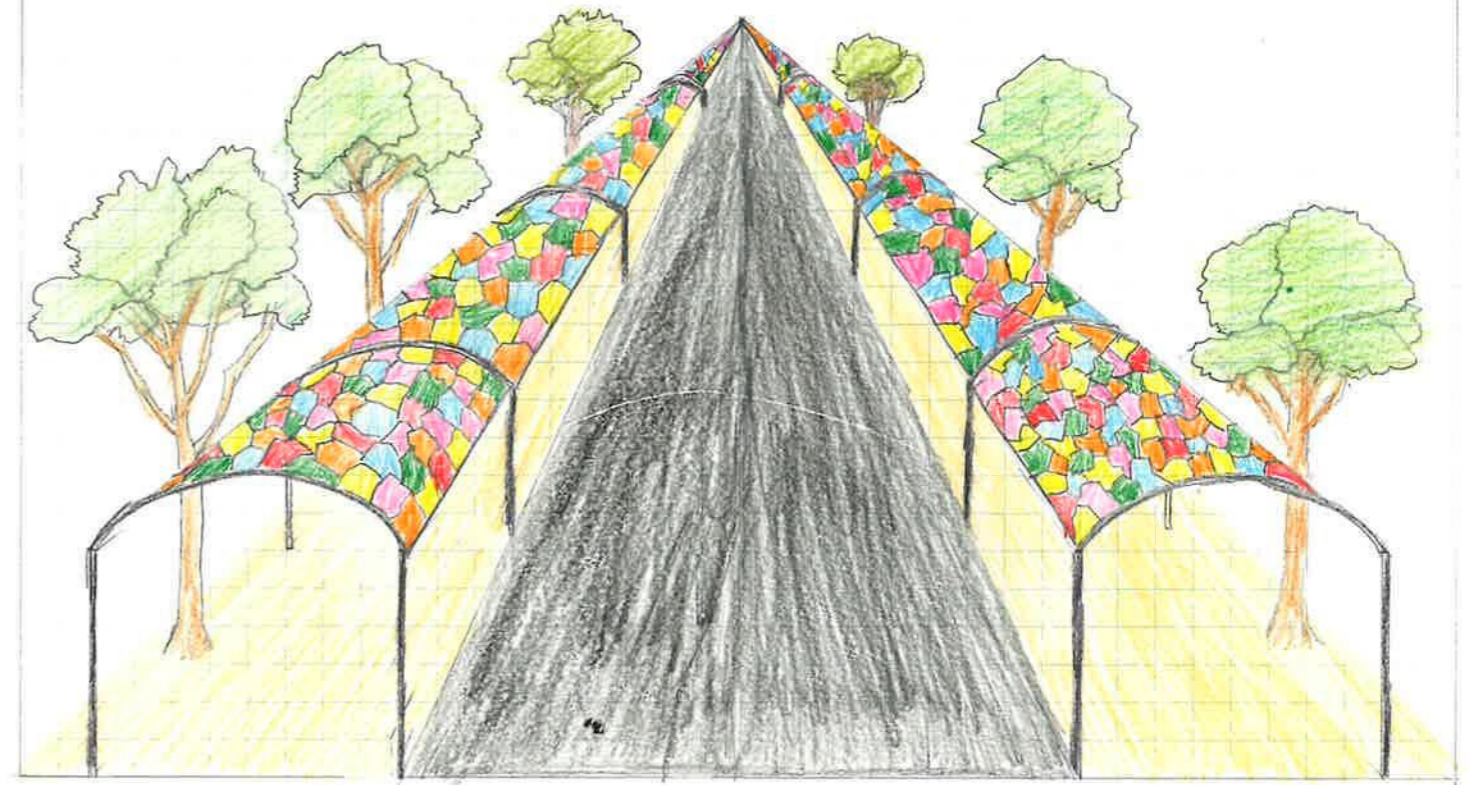
毎日通る道が変化もなければ、何も特別ではない普通の日々が流れるか、その道に特別に感じられる「何か」があるだけで日々が彩られていくと考える。

そこで私は スタンドガラスを用いた歩道屋根を考えた。その屋根に日が差すとスタンドガラスを通して歩道に色が映しだされるようになっている。普通の道に色が付くだけでいつもとは違った特別感を与えることだろう。

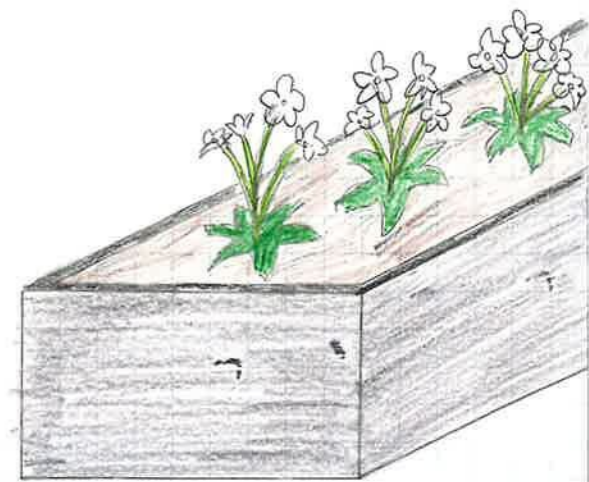
歩道の道路側には花壇があり、季節ごとの白い花が植えられており、スタンドガラスを通った光は花々をカラフルに彩りを与えられると考える。

歩く周りに色鮮やかな屋根や花があることで、日々彩りを与え、流れる毎日に特別感を与えることが可能だと考えた。

この歩道があることで、「その道を歩きたい」と思える人や「この道を通ると気分が良い」と感じてくれる人達が増え、ミュージアムロードが賑やかになることを願って、デザインした。



「色を映す道」



花壇に植えられる
「白い花」

- 春: スズラン、マーガレット、ユキアザミ
- 夏: エリ、アサガリ、アジサイ
- 秋: コスモス、シロウキ
- 冬: クリスマスローズ、スイセン